

基幹農道整備事業井ノ口東2期地区の部分共用開始について

【西湘支部】 県西地域県政総合センター農地課

県西地域県政総合センター農地課が整備を進めている、基幹農道整備事業井ノ口東2期地区が令和元年8月に部分供用を開始したので報告します。

【事業の概要】

基幹農道整備事業は、営農通作および農作物の集出荷作業、流通の合理化による営農条件の改善とともに、関係する農村集落の環境を改善して地域活性化を図るために、地域の基幹となる幹線農道を整備する事業です。

【地域の概況】

本地区は足柄上郡中井町の北東端に位置し、東部を平塚市に北部は秦野市に接する、大磯丘陵北端に広がる、露地野菜を中心とした畑作地帯です。

昭和56年4月に東名高速道路秦野中井インターチェンジが開設され、主要路線である県道71号秦野二宮線などの道路網が整備されましたが、当該遠藤原地域からこれらの主要道に接続する路線は狭隘な町道のみでした。

【事業の実施経緯】

井ノ口東農道は、平成10年度に農免農道(農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業)として農林水産省の事業採択を受けて事業に着手しました。

総延長は2,300mですが、あいだに中井町道17号線を挟んで、南西側の1期地区700mと、北東側の2期地区1,600mに2分割して事業を推進しています。

1期地区については、平成10年度に着手、20年度には700mの工事が完了し、21年6月に供用を開始しました。

平成21年度からは遠藤原集落の北側を外周する2期地区に着手し、路線東端の平塚市道との交差点から、新設区間、既存町道を経て北端の秦野市道に接続し、西方へ向かう線形として整備を進めています。

平成28年度までに940mの開設工事を実施しましたが、まだ660m余りが未整備な状況です。



【部分供用開始について】

当該2期地区の中心となる遠藤原集落では、平塚市土屋と秦野市上大槻間の通過車両が多く、朝夕の通勤時間帯には集落内の狭隘な町道に、数多くの通過車両が往来し、小中学児童の通学も大変危険な状況にありました。



こうした状況を受けて、井ノ口東農道推進協議会において、平塚市と秦野市を結ぶ区間の部分供用開始について検討を進めました。

中井町としても、集落環境の安全安心を最優先として、開設工事の延伸に先立って部分供用開始することに同意をいただきました。

平成29年度及び30年度の工事では、舗装工事とともに、供用開始に向けた付帯安全施設の整備を実施。

あわせて用地管理図や農道台帳の整備、農道施設(県有土地改良財産)の中井町への譲渡にかかる協議や無償譲渡契約手続き、県警松田警察署及び平塚警察署との協議などを進め、供用開始区間の舗装等の工事完成から4か月後となる、令和元年8月1日に部分供用を開始しました。



平塚市交差点側から秦野方面



秦野市交差点から平塚方面